

鹿市医狂壇



553 樋口 一風 選

兼題 「帰省（もどつ）」

天

帰省てん毎晩友人し会け鉄砲玉

紫南支部 加治屋犬好

（唱） 人気があつて友達しや放とかじ
（評） 若い頃の友達というのは、小中高
校の同級生や幼馴染などでしょう。故郷
に残っている友達は、都会のニュースに
馴れています。都会に出た人は、故郷に
残った幼馴染の、消息を聞きたくてたま
らないのです。
帰省したら、両親には一応の挨拶はし
ますが、足は友達の方に向いています。
「鉄砲玉」が効きました。家を出たら行
き先は分かりません。

薩摩狂句鑑賞 191

薩摩狂句暦

三条風雲児著 から
（平成元年五月一日発行）

通夜ん晩猪口の遣取や遠え血筋

瀬戸口 凡句良

親とか妻子など、身近な人を亡くしたら、
その悲しみに打ちひしがれて、どんな酒好
きも酒どころではあるまい。
亡骸の傍に座り、心うつろな夜を過ごす
ものである。ところが、お通夜に集まった人
がみな同じではない。従兄弟、再従兄弟に
なると、出された酒を飲みながら、故人の
思い出話をしているうちに、だんだん猪口の
遣り取りになつて行くのである。
血が薄くなれば、悲しみもまた薄らいで
しまうところを穿った句である。

吝しごろ足袋の破れい墨ぬ塗

長瀬 ポンパッ

足袋に穴があいたら縫えばよさそうな
ものだが、恐らく急に足袋をはかなけれ
ばならないことが起こって、出してみた
ら穴があいていたので、繕う暇が無かつ
たのかも知れない。
そこで破れた部分に墨を塗って、急場
をしのいだのであろうが、けちと言うよ

地

帰省来ち母ん電話は涙声

伊敷支部 谷山五郎猫

（唱） 元氣きあつうち孫をば見せち
（評） 子供たちは、都会に出て行つたき
りで、久しく帰っていないので、お母さ
んは子供に、会いたくてたまらないので
す。
お母さんは、歳を取るにつけて涙もろ
くなってきました。息子達から電話が来
る度に涙ぐんでいます。
孫でも出来ると、早く連れておいでと
矢の催促です。子供にも、それぞれの都
合も有るが、母の「涙声」は絶対でスルー
する訳にはいきません。

人

帰省たやあちこち歩つ忙し孫

上町支部 吉野なでしこ

（唱） 楽しかったが非常に疲れつ
（評） 「来てうれし帰ってうれし」と言
う川柳のフレーズがあります。孫が来る
と、可愛くて楽しくてうれしくて堪りま
せんが、二三日たつと、面倒を見るのに
疲れ果ててしまいます。
歩き始めた孫と、公園などに行くと一
時もじっとしていませんので、後を追いか
けるのに息が切れ、足腰も痛くなります。
帰って行くと、ほつとします。

秀逸

五客一席 紫南支部 二軒茶屋電停
帰省来た孫ん姿が凛々しゆなつ

（唱） 歩つ姿も若け時の俺

五客二席 紫南支部 加治屋犬好
子ん帰省や凄つぜ嬉しが母あ騒動

（唱） 何ゆ料理ろかいち気が休まらじ

五客三席 伊敷支部 谷山五郎猫
帰省着て駅かあ出れば鹿児島弁

（唱） やっぱい故郷あ空気も美味め

五客四席 上町支部 吉野なでしこ
気晴らしち小遣をせびい帰省来つ

（唱） 心も懷も暖け故郷

五客五席 市立病院支部 上荒田三十郎
学会の序で帰省い墓参い

（唱） 渡いに舟で有難て出張

佳作

帰省度び故郷あ区画整理で遠おけなつ

伊敷支部 谷山五郎猫

山んごつ仕残しやあつて最早師走

（唱） まさかん病め全部狂つ

リハビリん部屋が爺婆ん社交の場

（唱） 歌を歌とたい遊戯をしたい

山本 自在鉤

狂句募集

◎3号
題吟「支度（したつ）」
締切 令和8年2月6日（金）
◎4号
題吟「も一度（もいっど）」
締切 令和8年3月6日（金）
◆選者 樋口 一風
◆漢字のわからない時は、カナで書いて
ご応募くだされば選者が適宜漢字をあ
ててくださいます。
◆応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL 〇九九一二六―三七三七
FAX 〇九九一二五―六〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.med.or.jp